

地域密着型通所介護・運営推進会議（議事録）

平成29年3月27日（月）

18:00 ~ 19:30

デイサービスセンター共楽苑にて

会議出席者

- ・佐々木俊博 委員（益田地域介護支援専門員協会前会長・くしろ宝寿苑施設長）
- ・品川弥次 委員（西南地区児童民生委員協議会会長）
- ・豊田繁雄 委員（二条地区連合自治会長）
- ・永井安行 委員（利用者代表）
- ・永井待子 委員（利用者代表）
- ・中島保 委員（美濃地区社会福祉協議会前会長） わかくさ福祉会より
- ・小林晃 委員（益田市高齢者福祉課） ・岡崎正興・又賀信子

① 「地域密着型通所介護 運営推進会議」 前回のふりかえり

（１）「地域密着型通所介護 運営推進会議」の位置づけについて再確認を行った。

「地域密着型通所介護は、要介護者の住み慣れた地域での生活を支えるため、身近な市町村で提供されることが適当なサービス類型として創設された。運営推進会議の設置については、おおむね6ヶ月に1回開催することとなっている。話し合いの内容としては、活動状況の報告や評価、必要な要望や助言等を受けるといった内容となる。会議の記録を作成し、求めがあれば公表しなくてはならない。記録は、2年間の保存が義務づけられている。等。」（前回の議事録より引用）

（２）現在のデイサービスセンター共楽苑についての活動状況について、追加報告を行った。

- ・ 訪問入浴介護事業の介護職員が補充出来ず、4月末にて事業を廃止することとなった。訪問入浴は7名の利用者がおられるが、益田市社協や、各施設に引き継ぎを依頼している。
- ・ 平成29年度から、デイサービスセンター共楽苑は益田市の指定管理ではなく、正式に譲渡されて社会福祉法人わかくさ福祉会の所有となる予定である。
- ・ 平成29年度中に、浴室を中心に改修工事を予定している。
- ・ 平成29年度からの「要支援者」に対する「総合事業」の実施については、利用者の側からみるとそこまで大きな変更はないものと伺っている。ただし、1年後・2年後には、利用時間の設定を短く変える等、運営が厳しくなる予想はしなければならない。
- ・ 前回議論して頂いたアンケートの項目については、そのままの形で実施した。その結果について今回、話し合ってもらい、今後の活動に繋がりたいと考えている。

② デイサービスセンター共楽苑、アンケート実施状況の報告と意見交換 【集計用別紙あり】

- ・ 59部の発送 41部の回答回収 回収率 69.5%

【意見交換】

- ・ 「はい」「いいえ」という回答の他に、「どちらかといえば、はい、に近い」「どちらかといえば、いいえ、に近い」などの「あいまい」項目を、もうけてみても良かった。
- ・ 簡単な質問が良かった。

- 食事の献立については、答えやすいのだろう、回答に反映されている。
- 集計の仕方について、家族が記入したものと、自分で記入したものを、別にして分析することは出来るか。
- 家族ではわからないはずの質問にも、家族が答えている。分析は、必要なのではないか。
- アンケートを実施した時期によって、回答が変わるものもあったのではないか。サービス提供時間の長さ等、夏期と冬期でご希望が異なるということも、あり得るのではないか。
- ホームページや機関誌に載せてはどうか。視覚的に結果がわかる方がわかりやすいので、円グラフ等で載せてはどうか。

### ③ ご意見・ご要望（自由・意見交換）

- 訪問入浴について、スタッフが確保出来れば再開が可能なのかどうか。
- 訪問入浴をやめざるを得ないということであるが、今後は、デイサービスの方でも重度の方が利用出来るような改修工事に取り組んでもらいたい。
- 運動やリハビリに力を入れて、出来るだけ長く地域で過ごせるようにしてほしい。
- 美濃地区のお出かけ支援「てごすけ号」について。梅寿会とわかくさ福祉会が、車と運転手を出し合って試行運転をしている。木曜日の昼から、美濃診療所・美濃郵便局・商店等を利用する高齢者の交通手段として検討している。運営主体の問題や、保険の問題もあるが、クリア出来れば、美濃地区だけでなく二条でも出来るのではないか。
- 社会福祉法人の役員のあり方が変わる。理事と評議員の兼務はなくなった。第三者委員である西坂蔵人氏と、豊田芳夫氏には、第三者委員に留任して頂く予定である。

### ④ 次回の開催について

- またあらためてご案内をする。
- 直近のテーマである浴室の改修工事等のご説明になろうかと思う。

（議事録作成：又賀信子・岡崎正興）